

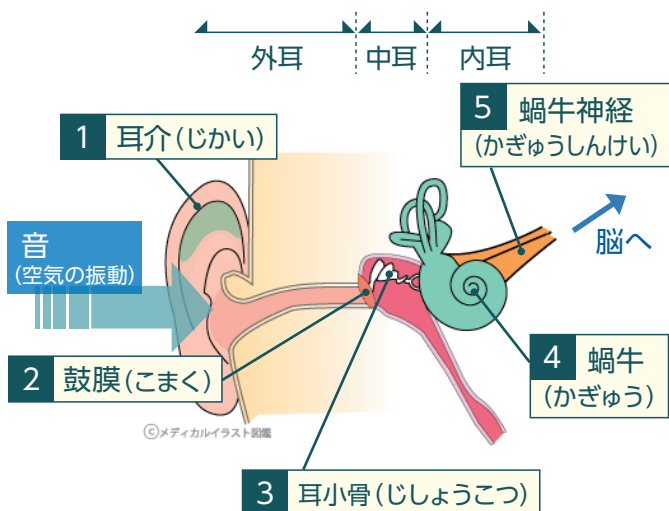


難聴



難聴とは、耳が聞こえにくい状態になることです。加齢によるものが多いですが、そのほかにもいろいろな原因があります。また、原因が分からない難聴も多く存在します。

耳の構造と音の聞こえるしくみ



フリーメディカルイラスト図鑑の画像を使用

- 1 耳介が音(空気の振動)を集める
- 2 鼓膜が空気の振動をキャッチする
- 3 耳小骨で振動を増幅
- 4 蝸牛の中にある有毛細胞(ゆうもうさいぼう)が刺激を受けて、振動を電気信号に変える
- 5 電気信号が蝸牛神経を通して脳に伝わり、「音が聞こえる」と感じる

いろいろな難聴

■ 加齢によるもの

加齢によって、主に有毛細胞に障害が生じることによる難聴です。まず高い音から聞こえにくくなります。個人差はありますが、誰にでも起こりうる現象です。治療方法はありませんが、補聴器などで聞こえを改善します。

■ 騒音によるもの

大きな音や長時間の騒音にさらされることによって、主に有毛細胞という音を感じ取る部分に障害が生じることで起こる難聴です。例えば、大音量の音楽を長時間ヘッドホンで聴いたり、工事現場など大きな騒音の中で長時間作業したりする時などです。大音量で音楽などを効かない、騒音の中にいる場合は耳栓をするなど予防が大切です。

■ 中耳炎によるもの

細菌の感染などによって、耳の中の「中耳(ちゅうじ)」と呼ばれる部分に炎症が起こることによる難聴です。幼児に多く見られます。通常は自然に治りますが、抗菌薬(細菌を抑える薬)で治療することもあります。

■ 突発性難聴

突然、聞こえが悪くなります。原因はよく分かっていません。疲労やストレス、耳の中の血流がよくないなどによって起こると考えられています。耳鳴りやめまいを伴うこともあります。治療には、ステロイドや、血流を改善する薬、神経の働きを助けるビタミン剤などが用いられます。早期に治療した方が改善しやすいといわれています。

■ ストレスによるもの

耳には特に問題がなくても、ストレスによって自律神経が乱れたりして起こる難聴です。原因になっているストレスを取り除くことが大切です。

■ 薬の副作用によるもの

薬の副作用によって、耳の奥の方の「内耳(ないじ)」と呼ばれる部分が障害を受けることで難聴が起こる場合があります。何らかの薬を使って、聞こえづらくなった、耳鳴りやめまいなどが起こった場合は、速やかに医師に連絡してください。

耳の聞こえがおかしい?と思ったら、
耳鼻科を受診して聴覚の検査を受けましょう。



【参考文献】

- (1) 日本耳鼻咽喉科学会: Hear well, Enjoy life
<http://www.jibika.or.jp/owned/hwel/>
- (2) MSD: MSDマニュアル家庭版 難聴
<https://www.msmanuals.com/ja-jp>
- (3) 武田コンシューマーヘルスケア: タケダ健康サイト
耳が聞こえにくい(難聴)
<https://takeda-kenko.jp/navi/navi.php?key=nantyou>